



AIを、考える。

-子どもたちに伝えたい、AIの論点-

色々なところで、活用されるAI

① 画像認識の能力を使って…

- 医療用AI
 - がんの早期発見
- 防犯用AI
 - 不審者の検出

② 音声認識の能力を使って…

- アシスティブAI
 - 自動で字幕を作成（例：UDトーク・今ついているSkypeの字幕）

③ テキスト分析の能力を使って…

- 対話型AI
 - お客様からの問い合わせに自動で応答

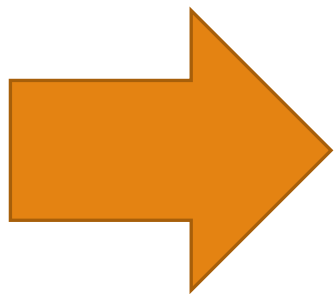
ついに、子どもに人気の場所にも…。

子どもに大人気の
回転寿司屋さんの前を通りかかったら
こんなノボリが…。
子どもは「なあに？」と親御さんに聞くのでは!?



ということで…。

まなキキの企画として、
AIに関して取り上げられそうな論点を
みなさんと考えていきたいと思います。



・こんな記事があると良い
・こんな論点がありそうだ
などなど、ご意見頂けると嬉しいです!!

アイスブレイクとして…。

AIは差別をなくす？
むしろ強化する？

【再犯率の判断問題】

アメリカのいくつかの州では、裁判の判決を決める際の参考資料として、AIが算出した「再犯率」を活用しています。

再犯率を計算するAIは、過去の犯罪者の膨大なデータを読み込んでいますから、どんな条件がそろえば、再び犯罪者になる可能性が高いかを言い当てることができます。過去のデータに基づいて、「この人があと1年後に犯罪を犯す確率は〇%です」と教えてくれます。

AI抜きに裁判官が再犯率を鑑みて、量刑を判断しようとする、やっぱり誰も人間ですから、公正であるべき司法の判断に偏見が入るかもしれません。

再犯率のように、人が決めにくい部分に関しては、AIに判断してもらったほうが良いといえるでしょうか。